

統合的海洋教育・研究センターにおける「地域連携活動に関わる取組や事例」

横浜市との連携

- ・海洋都市横浜うみ協議会
2015年に市内26の企業・団体が参加して設置された産官学の協議会。センター長が理事に就任。3つのWGを通して教育・研究・産業など様々な活動を展開。本年夏に開催された「横浜うみ博」にも出展。
- ・横浜市職員研修
2014年度から「海を活かしたまちづくり」に資する研修を実施。14、15年度は講義形式、本年度海のソーシャルイノベーションをテーマにWS型研修の開催を調整中。
- ・統合的海洋教育・研究センター公開講座
2014年から横浜市政策局の協力を得て、平日夜・隔週計5回の公開講座をみなとみらい（クイーンズスクエア）の市外郭団体の会場で実施。
- ・統合的海洋教育・研究センターシンポジウム
例年後援として会場確保に協力いただくとともに14年度は副市長、15年度は環境未来都市担当理事に登壇いただいた。
- ・環境再生事業（山下公園地先の藻場再生）・ブルーカーボン事業への技術指導
横浜市が企業等と連携して進めている、事業について、それらの進め方や評価等を専門家の立場から技術指導。

その他の地域との連携

- ・UDC-SEA（ヨコハマ海洋環境みらい都市研究会）
横浜都心臨海部を中心に、目指すべき21世紀の国際海洋環境都市としてのありようを考察し、新たな政策提言を行うことを目的とした研究会。前・海センター長が共同代表を務めるとともに本学教員が複数参画。
- ・ヨコハマ海洋市民大学
横浜の海の学びの場として2014年に開始された市民大学。海洋都市づくりリーダーの育成（海洋教育デザイナー）と市民のプラットフォームとなることを目的とする。本センター、東京海洋大学、横浜市立大学等が協力、横浜市が後援。